

平成 23 年 11 月 11 日

奈良県南部振興監
畑中伊知雄様

公明党奈良県本部
台風 12 号災害対策本部
本部長 岡 史朗



台風 12 号の被害対応についての申し入れ書

台風 12 号は紀伊半島中心に甚大な被害をもたらし、2 か月を経過いたしました。今なお 27 帯 63 名の方々が避難生活を余儀なくされています。

これまで県は荒井正吾奈良県知事を先頭に被災地域の復旧・復興に全力で取り組んでいただいている事に感謝を申し上げる次第であります。

公明党奈良県本部台風 12 号災害対策本部は、去る 9 月 5 日に荒井正吾奈良県知事に対して 7 点の要望をさせていただき、更には、公明党災害対策本部（山口那津男公明党代表）が 9 月 17 日に五條市大搭町、野迫川村、天川村の被災状況を調査するとともに、被災者の要望をお聞きし国・県への要望を致したところであります。

その後、県南部地域における住民の安心につながる復旧・復興につなげるため、山本香苗参議院議員と公明党奈良県本部台風 12 号災害対策本部は、10 月 29 日 30 日の両日、五條市・十津川村へ再度伺わせていただき、その際被災者の皆様などから様々な要望やご意見が寄せられました。

今後心配される、不安な避難生活への対応や南部地域の復興につなげるため、以下の項目について申し入れをさせていただきます。

- 1、応急仮設住宅における更なる住民の声を聞き、バリアフリー化や寒さ対策を行う事。また国に対して仮設住宅の特別基準の要望を行う事。
- 2、十津川村に安心して住み続けるために、人工透析を村内で行えるよう対策を講じる事。
- 3、河川への堆積土砂の処理対策を早急に講じる事。
- 4、南部地域への総合的な雇用の創出に取り組む事。
- 5、生活道路の早期復旧と、普及費用の村費用負担額の見直しを行う事。
- 6、五條新宮道路の延長を国直轄代行として行われるよう国に対して要望する事。

以上